

調査研究協力者

本プログラムの調査研究活動を支援していただく、COE調査研究協力者に今年度委嘱された方々です。

2005年5月現在

班	氏名	所属部局・職名
1	鈴木 彰	神奈川大学外国語学部 助教授
1	中井 真木	東京大学大学院総合文化研究科博士課程 在学
1	コールマン・ティモシー	東京大学大学院総合文化研究科修士課程 在学
1	金 泰順	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所博士前期課程 在学
1	林 淑姫	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所博士後期課程 在学
2	海賀 孝明	株式会社わらび座 チーフエンジニア
3	河野 真知郎	鶴見大学文学部 教授
3	津田 良樹	神奈川大学工学部 助手
3	原信田 貴	国際浮世絵学会会員、2003年度神奈川大学21世紀COEプログラム共同研究員
3	増野 恵子	早稲田大学教育学部 非常勤講師、2004年度神奈川大学21世紀COEプログラム共同研究員
4	貴志 俊彦	島根県立大学総合政策学部 助教授
	富澤 達三	神奈川大学日本常民文化研究所特別研究員、2004年度神奈川大学21世紀COEプログラム研究員 (PD)

貴重資料の紹介



「The Top of the Pass between Nikkō and Lake Chūzenji」
(写真左下)

Mrs. Lasenby Liberty *Japan a Pictorial Record*
(Adam and Charles Black, 1910)より



「居留地 (旧横浜新田)」(写真右下)
横浜と近郊の風景写真(撮影者不詳、明治8年頃撮影)
計6点のうち1点



貴重資料の紹介

2004年度に購入した資料

2005年3月退任の研究担当者

COE共同研究員

彭 国躍 楠本 彩乃 田口 洋美 増野 恵子

COE研究員(PD)

網野 暁 富澤 達三

COE研究員(RA)

大坪 潤子 大西 万知子 中町 泰子

2005年度海外提携機関の派遣研究員・訪問研究員

本プログラムより派遣・招聘される若手研究者は、約2週間をそれぞれの研究課題にそって現地調査を実施します。今年度(前期)で選考されたのは、下記の派遣研究員2名、訪問研究員1名です。

派遣研究員

氏名：王 京 COE研究員(RA)
派遣先：北京師範大学
民俗学と文化人類学研究所
期間：2005年7月6日～7月19日

氏名：彭 偉文 COE研究員(RA)
派遣先：華東師範大学
中国民俗保護開発センター
期間：2005年9月17日～9月30日

訪問研究員

氏名：岳 永逸(北京師範大学民俗学と文化人類学研究所教員)
受け入れ期間：2005年7月15日～7月28日

編集後記

中間評価の結果待ち、外部評価ばやりとはいえ通信簿を待つ小学生気分の中での編集作業。箱根駅伝ではないが折返し地点での成績は後半に響く。次号より調査・研究の紹介から、その成果に基づいた論考、ワークショップやシンポジウムの内容で紙面を構成、研究の最前線の特集のような形で紹介していきたい。各研究員のサポートに期待するところ大である。

(佐野)

3年目の今年は、新しく始まる活動や、今までの研究活動の成果を発表していく節目の年です。本誌の表紙は新年度を機に気分一新、緑色に変わりました。今までの茶、青、そして今年度の緑、というように、年を追うごとに違う特色が出せるよう、これからも誌面の工夫を心がけていきたいと思っております。

(関)